



ぼらんていあ通信

6月号
通巻 No. 511

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2024年6月25日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: <https://sagamiva.info>



新しい理事さんをお迎えし、新年度がスタートしていきます！

2024年度スタートにあたって加藤会長と、新たに理事として参加いただいた梶原理事に抱負などをうかがいました。

会長 加藤 修



先般開催しました通常総会において今年度の事業計画・予算を承認頂き新年度がスタート

しました。協会会員の皆様には日々当協会活動へご尽力・ご協力いただいておりますこと改めて御礼申し上げます。

当協会の近年の課題として事業準備金を取り崩しての予算のやりくりという財政問題がありますが、昨年度は会員の方を中心とした寄付金ならびに切手グループの尽力により事業準備金の取り崩しが軽微となりました。関係の方々のお力添えに厚く御礼申し上げます。

財政問題と並び課題となっているのは、当協会の主要活動である「ハンディキャップ活動」の運行実績の増加及び協会車両の更新です。

運行実績の増加には利用者からの申し込みとそれに応えるボランティアの確保が欠

かせません。近年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響等で新規の利用者受け入れを停止していた時期があり登録利用者数が減少しております。運転ボランティアについても講座等をきっかけに参加いただく方もいらっしゃいますが、まだまだ人員の確保が必要な状況です。今年度も引き続き課題克服のためハンディキャップ委員会・事務局委員会を中心に検討を進めて参ります。

協会車両の更新については、協会の財政問題との関係もあり更新対応の是非を検討して参りましたところ、過日逝去された篠島紀子様より遺贈という形で多額の寄付を頂戴致しました。篠島様のご遺志に因應するため今年度協会車両の更新に向けて車種選定・購入・運用を進めて参ります。

傾聴活動も昨年度は講座に大変多くの方にご参加いただきました。傾聴が社会におけるニーズ・関心が高いものであると改めて感じた次第です。今年度は傾聴活動を希望する方の発掘と傾聴活動の管理者養成が重要なテーマです。

今年は一月一日に能登半島地震が発生し、被災した方の支援ボランティアに関するニュースが度々報じられました。災害ボランティアはとても意義がある活動ですが、当協会が発足から取り組んでいる移動

援助など日々の暮らしに寄り添うボランティア活動も、災害ボランティア活動に劣らない意義深い活動であると思っております。

会員皆様の日々のお力添えの継続が協会活動の永續に欠かせませんので、今年度も引き続き協会活動へのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



理事 梶原 賢一郎



はじめまして。

このたび、相模原ボランティア協会の理事に就任しました、相模原市社会福祉協議会

福祉推進課 市民活動係の梶原賢一郎です。3月まで在籍した福祉推進課 地域支援係では、主に地区社会福祉協議会や民生委員・児童委員の皆様をサポートを担当し、多くの市民活動や地域の福祉事業に携わってまいりました。

その中で、地域の皆様と直接触れ合う機会が多くなり、一人ひとりの温かい思いや情熱に触れることができました。活動に参加するきっかけや原動力についてお話を伺った際に、皆様の熱意や優しさに深く感動し、また大変感謝しております。

次ページに続く



市民活動係の窓口にも、さまざまな背景や思いを持つ方々が訪れます。「何か役立ちたい」といって純粋な気持ちで行動を起す方々、「今こそ何かを始めたい」と新しい一歩を踏み出す決意を持った方々など、その思いを受け止め、大切に繋げていくことが私の使命であり、やりがいでもあります。

地域の皆様が安心して暮らせる環境を築くためには、一人ひとりの協力と支え合いが欠かせません。そのため、協会の皆様にもご知恵を出し合う、力を合わせていきたいと思っています。

今後、相模原ボランティア協会の理事として、これまでの経験を活かし、市民活動のさらなる発展と地域社会の福祉向上に、微力ながら貢献したいと考えています。

これからの時代において、地域の課題はますます多様化・複雑化していくと予想されます。少子高齢化、子どもの貧困、孤立問題、担い手の不足など、地域社会が直面する課題は数多くあります。

これらの課題に対して、柔軟で創造的なアプローチが求められています。

地域の「誰か」の「何」の理事として、皆様の活動がより多くの人々に広がり、根付くよう努めてまいります。

よりよいまちづくりを願っています。



活動開始

新入会員との懇談会

傾聴委員 石関 清美

5月21日(火)、市民会館3階の会議室で13時より新入の懇談会が開かれた。

参加者は過日3回にわたって開かれた傾聴の講座に参加された方の中で入会された方8名と講座未修の方1名の9名、そして傾聴委員8名でした。

まず西本委員長の挨拶、渡邊委員の司会で懇談会は始まりました。松原委員より傾聴を活動するにあたっての基本ルール、気を付けたい事を「傾聴活動のしおり」に沿って説明があり、その後自己紹介、珍しく居住しているマンションなども話してもらいました。

質問コーナーでは実際に訪問するにあたって具体的な問いかけがあり、それぞれに対して先輩の傾聴委員が経験を踏まえて答えました。例えば、自分のペットボトルを持って行ってもいいか？訪問中に薬を飲んででもかまわないか？2人で訪問するが役割分担が決まっているか？足が悪くて正座できないが、動物が苦手なのが大丈夫か？など。訪問先には自転車で行ってもいいものもありません。

先に住所を聞いていたので実際に訪問先、利用者などとのマッチングについて相談でき、体験も含めて6名の方が決まりました。一応利用者さんの許可を得て、活動を開始します。

7月の記念日は？

小倉義男

7月11日は、ラーメンの日です。ラーメン産業の振興・発展とともに、日本独自のラーメン文化を支えるのが目的。日付は7と11の7をリングに、11を箸に見立てたことと、ラーメンを最初に食べた人物とされる水戸黄門の誕生日から。一般社団法人日本ラーメン協会が制定。



小倉画

【出典(一社)日本記念日協会より参照】

クイズに挑戦

一から始まる四文字熟語クイズです。○に入る漢字を答えてください。

- ① 一攫○金
- ② 一○一○千
- ③ 一○一○万
- ④ 一○一○千
- ⑤ 一○一○万
- ⑥ 一○一○千
- ⑦ 一○一○万
- ⑧ 一○一○千
- ⑨ 一○一○万
- ⑩ 一○一○千
- ⑪ 一○一○万
- ⑫ 一○一○千
- ⑬ 一○一○万
- ⑭ 一○一○千
- ⑮ 一○一○万
- ⑯ 一○一○千
- ⑰ 一○一○万
- ⑱ 一○一○千
- ⑲ 一○一○万
- ⑳ 一○一○千



市内企業訪問記

「さかみはら」
〜日本フードエコロジーセンター〜
食品ロス減らしで畜産に・エネルギーに



先月号に掲載させていただきました。日本フードエコロジーセンターさん取材の続きです。

*エコフィードはJ.FEC豚が食べているので、その肉はJ.FEC豚が食べます。

神奈川のほか関東や東北などの契約している養豚農家に専用タンク車で配送しています。農場によってエコフィードの配合割合は異なり、要望に応じてオーダーメイドの生産もしています。日本フードエコロジーセンターのエコフィードで育てた豚は一般の豚肉よりオレイン酸が多く、コレステロール値の少ないヘルシーな豚肉になります。筋繊維がきめ細かくやわらかで、小田急のOや古戸書店、いなげや等でそれぞれのブランド豚として販売されています。



原料の食材を粉砕



ホエーや牛乳も原料になります



*豚用の飼料にはなのはせじょうが。

豚は人と似た消化器を持ち、人の食べ物を食べられます。また、液体の飼料は豚にとっており、好んで食べてくれます。鶏や牛は穀物中心の草食、鶏は液体も苦手です。

お話を伺った後、工場内の見学をさせていただきました。

2階部分から工場全体が見渡せるようコースが整備され、学校を始め環境やSDGsに関心を持つ団体などが訪れるようです。計量、選別、破碎、殺菌等の機械が整然と並んで稼働中。自動で制御されているものが多くみられました。

ちょうど入り口付近で、8人の障がい者施設の方が作業していました。期限切れ食品の包装を取り除く仕事ですが、手際よくこなすその腕をかつての契約で、障がい者だからという理由での雇用ではないうこのこと。能力を認められる働きの場所はいいなと思います。

エコフィードの完成品は毎日保存しているそうで、実物を見せていただきました。味見を希望したのですが、人も家畜も食べ物は衛生・安全なことに関する法律があることで却下。よんごう緑っぽく、香りも「おいしそう」ではありませぬでしたが、工場の向かい側は大型のタンクと集める「さがみはらバイオガスパワー」の施設。飼料に不向きな食品廃棄物をメタン発酵し、バイオガスを発生させて発電をこの工場のよう。日中は担当者が常駐するほか、24時間遠隔監視しています。電気は東京電力へ売電し、発酵後の液体は廃熱



エコフィードの完成品



さがみはらバイオガスパワー株式会社



電気自動車なども充電できます

工場完成記念碑

相模原市内の多くの企業の協力の下、2023年11月にさがみはらバイオガスパワーの開所式が行われました。



(株)日本フードエコロジーセンター
〒252-0245

相模原市中央区田名塩田 1-17-13

TEL : 042-777-6316

代表取締役 たかはしこういち 高橋巧一 (獣医師)

で乾燥させて肥料の原料にしようかと、まさに仕入れた食品廃棄物を有効利用しようという「使えなす」といった感の「リサイクル」、そのアイデアや開発研究への意欲は発展するSDGsとみえました。心底感心してJ.FECを後にしました。
高原さん、長時間のご案内をありがとうございました。(恒藤・杉崎)

J.FEC (ジェイ・フェック)

—JAPAN FOOD ECOLOGY CENTER—は、株式会社日本フードエコロジーセンターの略称です。

理事会報告

6月30日(土) 理事の名出席。

◆委員会報告

〈広報委員会〉

・ぼらんていあ通信・・・6月号は6月25日印刷発送予定。
 ・情報部会・・・ホームページ利用会社の「ウェブインター
 ネット」よりの料金価格変更のお知らせが届いたが、継続し
 て同会社を利用する予定だ。

〈HC委員会と事務局委員会(合同開催)〉

・HC運行の際のフォローアップ勉強会の内容を検討。

・事務局新メンバーの紹介。

・HC新規利用者の初回訪問を再開した。

〈講座委員会〉

・秋講座を11月19日、30日の2回シリーズで回想法と認
 知症サポーター養成講座の内容で開催予定。

〈傾聴委員会〉

・5月21日新規登録者説明会開催の名出席。

・5月18日委員会開催。利用者、増えは始めている。

〈映像企画実行委員会〉

・引き続きよさこいグループ絆のDVDを若サポのメン
 バーと製作中。

◆そのほか報告事項

・相模原市社協からの助成金 6月10日入金見込み。

・SSVN主催防災ボランティア講座講師報告。

・かながわ福祉ネットワーク勉強会に出席。ライドシェアの
 説明。

◆審議事項

・組織機能図更新内容を検討。

・功労者表彰について、正副会長の人選を確認・了承。

・子ども対象のボウリング大会について検討。

次回理事会 7月13日(土) 11時より



相模原ボランティア協会 7月の予定

日	時間	内容
3(水)	13:00~	広報委員会・ぼらんていあ通部会
13(土)	10:00~	協会の在り方検討会議
	11:00~	定例理事会
18(木)	10:00~	映像企画実行委員会
20(土)	13:00~	ハンディキャブ・事務局合同委員会
22(月)	10:00~	ボウリング大会実行委員会
	13:30~	ほかられ役員会
24(水)	10:00~	傾聴委員会
	14:00~	講座検討委員会
25(木)	10:30~	ぼらんていあ通7月号印刷
	13:30~	ぼらんていあ通7月号発行

あら、ほんと？

光の届かない宇宙で作物は育つ？

米航空宇宙局(NASA)は、将来の火星探査で宇宙飛行士たちが食料となる作物を栽培することを想定している。だが、それを実現するのは容易ではない。火星には、食物の育成に欠かせない太陽光が、地球の半分以下しか届かないからだ。

そこで注目されているのが、人工光合成だ。現地で二酸化炭素や水などから酢酸塩を生成し、それを養分として与えれば、太陽光がほとんど、あるいはまったくない環境でも作物の栽培が可能だという。トマトなど、この方法に適した品種の開発が進められている。

*ナショナルジオグラフィック 日本版より



ご連絡

HC号運転手の皆さまへ



第2回運転者研修会を8/24(土)14時~予定しています。テーマは、「HC号走行中に大地震に遭遇したときの退避行動とは？」です。

災害はいつ起こるかわかりません。災害時の心構えを皆で話し合しましょう。

詳細は、7月にご案内いたします。皆さまのご出席をお待ちしています。

HC委員会・事務局委員会

会員のひろば

会員の皆さまへ、自由に語りたい
ただのコーナーです。

生涯学習の「五」

鈴木 峰世

「算数学」を存じますか。算数学は、陰陽五行説やこの思想に基づいた、古代中国を起源とする占いです。生年月日をもとに、その人の一生の運、性格、才能、適性、相性を様々な問いについて精緻に占うことができます。算数学には確立された理論体系があるの、原則として占者に占った大きい結果が変わることはありません。上辺だけの鑑定になるか、深みのある鑑定になるか、間違った鑑定になるかは占者の知識量や熟練度によるかも。

私は何気なく手に取った一冊の本をきっかけに、算数学の学習を始めました。難解がかえって面白く、本だけでは飽き足りず、教室にも通い始め、現在の年目になりました。いまだに「生年月日」だけでなく「性別」も読むのが「驚きの連続」で、楽しい学びの連続です。

「五」の「五」は「五教習」の「嫌悪感を覚える」という方が多数派だと思えます。我が息子もそれに属する派。教室に通うことを相談した時には「時間とお金の無駄以外の何物でもないと」にシヤリ。夫は「学習も終わったのだし、新しい趣味を始めようと思ってる」と後押ししてくれました。

占いは若い人たちが楽しむ娯楽、というイメージがあるかもしれませんが、でも、私は大人世代の生涯学習として占いをすすめていたいと思います。占ってもらった側ではなく、占いの仕組みを知る側としての学びです。

長い人生の間には、運について考えた時があったり、不思議な巡り合わせに驚いたり、何とも説明しがたいできごとを経験したり、様々なことがあったと思います。自分史を作るつもりで、過去のターニングポイントとなったできごとや占いの技法を使って振り返ってみる。「なるほど」と思いつきがあるかも知れません。また、自分の適性を客観的に見ることで、思いもよらぬことが自分に向いていることがわかり、新たにチャレンジしたいことが見つかるかも知れません。

東洋の占いは、自然と深く結びついていると思います。啓蒙、小書、口説き文の二十四節気や意識すれば、季節の移り変わりの、鳥の音、草花の香、心地よさ、風、気、音、音階の散歩がよる楽しいものです。そこから何よきも螺旋階段を上がるように少しずつ知識を深めていくその学習スタイルが大人世代に向いています。



ボランティア協会のホームページは下記のQRコードを読み取るとご覧いただけます。カラー版のぼらんていあ通信も読むことができます。お楽しみください。



当協会の Facebook やインスタにも「いいね」をよろしくお願いします。

クイズの答え



①は③の十

「一攫千金」(いつかくせんきん) 一度に大きな利益を得る事。

②は④の十

「一刻千金」(いつくせんきん) わずかな時間が千金(多のお金)に相当する事。楽しい時間や貴重な時間をすべからず大切に過ごす事を惜しむ意味で使われます。

③は①の百

「一粒万倍」(いちりゅうばんばい) 一粒から一万倍のものが採れる事。わずかなものがとても大きく成長する事のこと。また、少しのものでも粗末にしないこと。気持ちを表すこと。

④は②の画

「一刀両断」(いちとうりょうだん) ひと太刀で、真二つ切る事。すみやかに決断して事を処理すること。

*なかなか意味深い四字熟語ですね。

ボランティアさん募集！

① 子ども食堂（おかげさん 子ども食堂）のお手伝い

依頼者：日本福祉リレーションシップ協会（中央区相生 4-4-8）
 内容：お弁当の盛り付け・配布、食堂の準備・片付け 等
 日時：毎月第2土曜日 午前9時30分～午後2時
 その他：駐車場及び交通費の支給なし
 申込み：080-6664-1863 担当：鈴木（すすき）



② 麻溝公園における「あじさい」のお世話



依頼者：麻溝公園あじさいボランティア（南区麻溝台 2317-1）
 内容：①あじさいの挿し木・剪定、②施肥、草取り、水やり、植樹 等
 日時：土曜日（月3回程度） 午前9時30分～11時30分
 その他：活動は無理なく、出来るときだけでも可
 申込み：090-5448-1346 担当：植木（うえき）

※ 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所：電話 042 (759) 7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター：電話 042 (786) 6181

FAX 042 (786) 6182

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



《今月のイラスト》
 …風に吹かれてビーチヨガ

山口尚美画

ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に
使わせていただきます。

<5月の寄付者>

故篠島紀子様他2名の方からご寄付をいただきました。

<5月の寄付金>

総額 3,007,000 円でした。



編集後記

先日取材のために訪れた場所。そこ
では高齢者が集い、百歳体操とカラオ
ケを行なっている。体操の後、カラオ
ケが始まる。歌詞に合わせて手振りを
付け踊る人。歌い終わった後は拍手喝
采。点数を見て拍手。皆さん笑顔で
ても楽しそう。

ある高齢者施設での2人の女性の
会話。

90代女性「私は人生幸せだったから
もういっしょになっても良いわ」

80代女性「すごいわね。人生幸せだっ
たと言えるなんて」

90代女性「幸せなんて大きな幸せだ
けが幸せじゃないと思っわ。小さなこ
と、ちよっとしたことでも、自分で幸
せだと思えば幸せなんじゃない」

70代の私「うん、深いなあ、最近
の私は「ミ」を出しに行き太陽の光を
浴び大きな深呼吸ができることに幸
せを。今年はおじさいの花が沢山咲い
たなあ、幸せを。ちよっとしたこと
で幸せを感じている。？十年後、人生幸
せだったと思える自分がいるかしら
…?」
（小）